

令和6年度 取手市立桜が丘小学校 グランドデザイン

【本県教育目標】

- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し、協力しあう心を育てる

【本市教育目標】

- ・ひとりひとりの能力を伸ばし 未来を築く力を養う
- ・じょうぶな身体をつくり 豊かな人間性をつちかう
- ・郷土を愛し、学びを生かし助け合う心を育てる

教育目標 自ら考え 心豊かで たくましい児童の育成

【めざす学校像】 子供たちの笑顔があふれる、安全・安心で楽しい学校

【めざす児童像】

- 自ら考え、進んで学ぶ児童
- 思いやりの心を持ち、助け合うことができる児童
- 心身ともに健康で、たくましく生きる児童

【めざす教師像】

- 授業力の向上を目指し、学び続ける教師
- 児童一人一人を大切に、寄り添い、伸ばすことのできる教師
- 他の職員と協働し、磨き合える教師

【学校経営方針】

- 1 児童が主体的に考え、「分かる」「できる」を実感できる授業を展開し、学力の向上を図る。
- 2 児童が自分のよさを実感し、他者のよさも認めながら互いに助け合おうとする心を醸成する。
- 3 自己管理能力を高め、健康の保持と体力の向上に努める児童を育成する。
- 4 家庭や地域と連携し、信頼される学校づくりを推進する。

【組織目標】一人一人のよさを生かし、主体性を育てる教育活動の推進
「みんなが主役 桜っ子」

自ら考える子

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得
 - ・学習規律と学習習慣の確立
 - ・一人一台端末の効果的な活用
 - ・学習意欲を高める学習課題の設定と学びを振り返る時間の充実(「分かる」「できる」の実践)
 - 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
 - ・思考したことを表現するアウトプットの充実
 - 「チーム指導」の充実
 - 外部人材の活用による体験学習の充実
- ☆県学力診断のためのテスト 平均正答率昨年度以上
- ☆授業が分かりやすい 85%以上

心豊かな子

- あいさつを基本とした人間関係づくり
 - 一人一人を大切にする教育の実践
 - ・チーム指導を中心とした組織での指導
 - ・教育相談部会、生徒指導の機能を生かした共通理解・共通実践
 - ・いじめの早期発見と組織的な対応の徹底
 - 温かな人間関係の構築
 - ・「ありがとう」が素直に言える児童の育成
 - ・道徳教育、人権教育、特別活動の充実
 - ・児童が安心して自己開示できる居場所づくり
- ☆学校は楽しい 90%以上
- ☆先生は、不安や悩みを聴いてくれる 90%以上

たくましい子

- 基本的な生活習慣の確立と保健指導の充実
 - ・外部講師の活用や養護教諭、給食センターとの連携
 - 健康・安全に関する自己管理能力の育成
 - ・防災教育・安全教育の充実による危機回避能力の育成
 - 体育授業の充実と運動習慣の確立
 - ・体力アップ改善プランの改善・充実
 - ・運動量を確保した授業実践と工夫
 - ・外遊びの活性化
- ☆県体力テストA+B 前年度比+2%
- ☆休み時間に外で元気に遊んでいる 85%以上

特別支援教育の充実

- 個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実
 - ・特性に応じた合理的配慮の工夫
 - ・視覚化やICT機器の効果的な活用
 - 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実
 - 特別支援学級と交流学級との意図的な交流
 - 特別支援教育に関する校内研修の実施
 - ・外部講師による研修
 - ・特別支援学校による巡回相談の活用
- ☆教育的ニーズを意識した授業を実践している 90%以上(教員)

- ・各種たより、学校 HP による情報発信
- ・教育相談体制の充実
- ・各行事での PTA との連携

☆各種たよりや学校 HP が分かりやすい 85%以上

家庭

学校

信頼される
地域に開かれた学校

地域

- ・コミュニティスクールの開設と学校運営協議会との連携
 - ・PDCA サイクルを機能させた学校経営
 - ・地域の人的・物的資源の有効活用
- ☆地域人材の活用 各学年2回以上

教職員の資質向上

- ・校内研修(授業力向上・特別支援等)の充実
- ・教員評価による教員一人一人の資質・能力向上
- ・コンプライアンス研修の充実
- ・働き方改革を意識した業務効率化の推進